

リーダーの仕事は、たった1つ、「部下をイキイキさせる」ということです。

リーダーは、一見、いろいろなことをしているように見えます。

「いろいろなことをしなければ」と思うと、自分が何に集中すればいいかわからなくなりません。

まずは、リーダー自身の中で優先順位を決めます。

自分の仕事の中で、今、何をしたら部下が一番イキイキするか考えるのです。

これが部下の自己肯定感を上げることになります。

「自己肯定感がある」ということは、わかりやすく言うと、「イキイキしている」ということです。

部下がイキイキしていれば、一流のリーダーです。

部下がイキイキしていなければ、二流のリーダーです。

一流は、部下をイキイキさせることを最優先に考えています。

二流は、何か別のことを考えています。

ほめたほうがいいのか叱ったほうがいいのかを考えることは、意味がありません。

どちらがイキイキするかは、状況によって変わるからです。

その判断基準は、常に「部下をイキイキさせられるかどうか」なのです。